

プロも実践！最初にやるべき基本的な内部対策10選

2016年2月22日



株式会社ディーボ

札幌市北区北7条西4-17-1 竹山ホワイトビル

URL: <http://devo.jp/>

E-mail: support@devo.jp

本レポートの一部、または全ての複製や配布、Web上での公開を禁止します。

目次

1. URLの正規化
2. Googleサーチコンソールにサイトを登録
3. サイトマップ送信
4. タイトルタグ作成ポイント3つ
5. metaディスクリプション最適化3つポイント
6. コンテンツにキーワードを入れる
7. h1タグの最適化
8. テキストボリューム・コンテンツを増やす
9. キーワード出現率を最適化する
10. 内部リンク最適化

1. URLの正規化

Googleでは「www」のある無しで、基本的には別なページとして判断します。そのため、URLの正規化（wwwある無しの統一）が大切となります。

例)

`http://www.itomakihitode.jp/`（wwwあり）

`http://itomakihitode.jp/`（www無し）

上記のURLはどちらも同じページです。URLの中に「www」があるか無いかだけの違いです。

例では、どちらのURLにアクセスしても、必ず「`http://itomakihitode.jp/`」こちらのURLになります。「`http://www.itomakihitode.jp/`」にアクセスした場合には「`http://itomakihitode.jp/`」にリダイレクトされるように設定しています。

★URLの正規化（wwwある無しの統一）の方法

URLの正規化する際は「301リダイレクト」という設定をしてください。301リダイレクトについてはGoogleでも説明しているページがありますので、適宜ご参考ください。

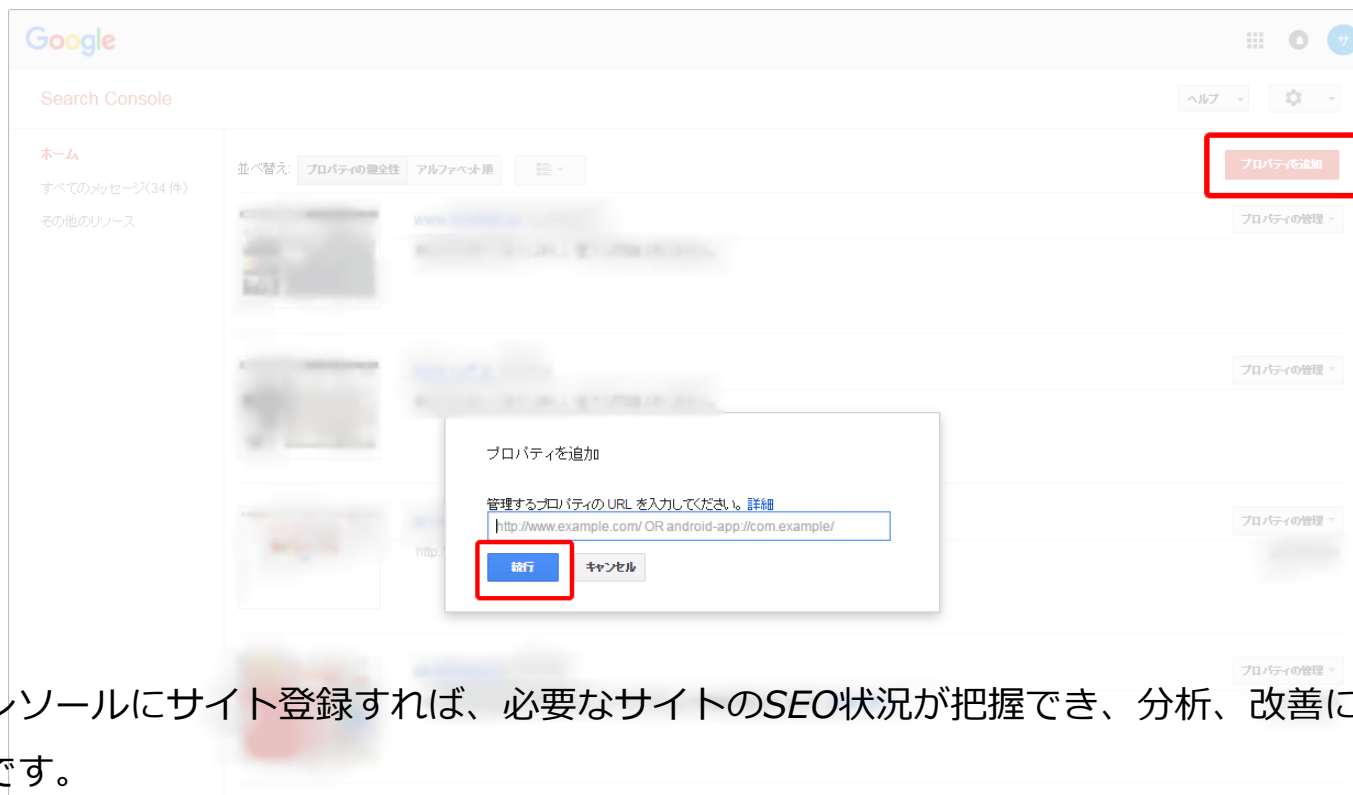
<https://support.google.com/webmasters/answer/93633?hl=ja>

2. Googleサーチコンソールにサイトを登録

まず *Google Search Console*（サーチコンソール）にアクセスし、[ログイン](#)。

※はじめて使う人は、*Google*アカウントを登録しましょう。

「プロパティを追加」ボタンを押して、登録したいサイトのホーム（トップページ）のURLを入力。



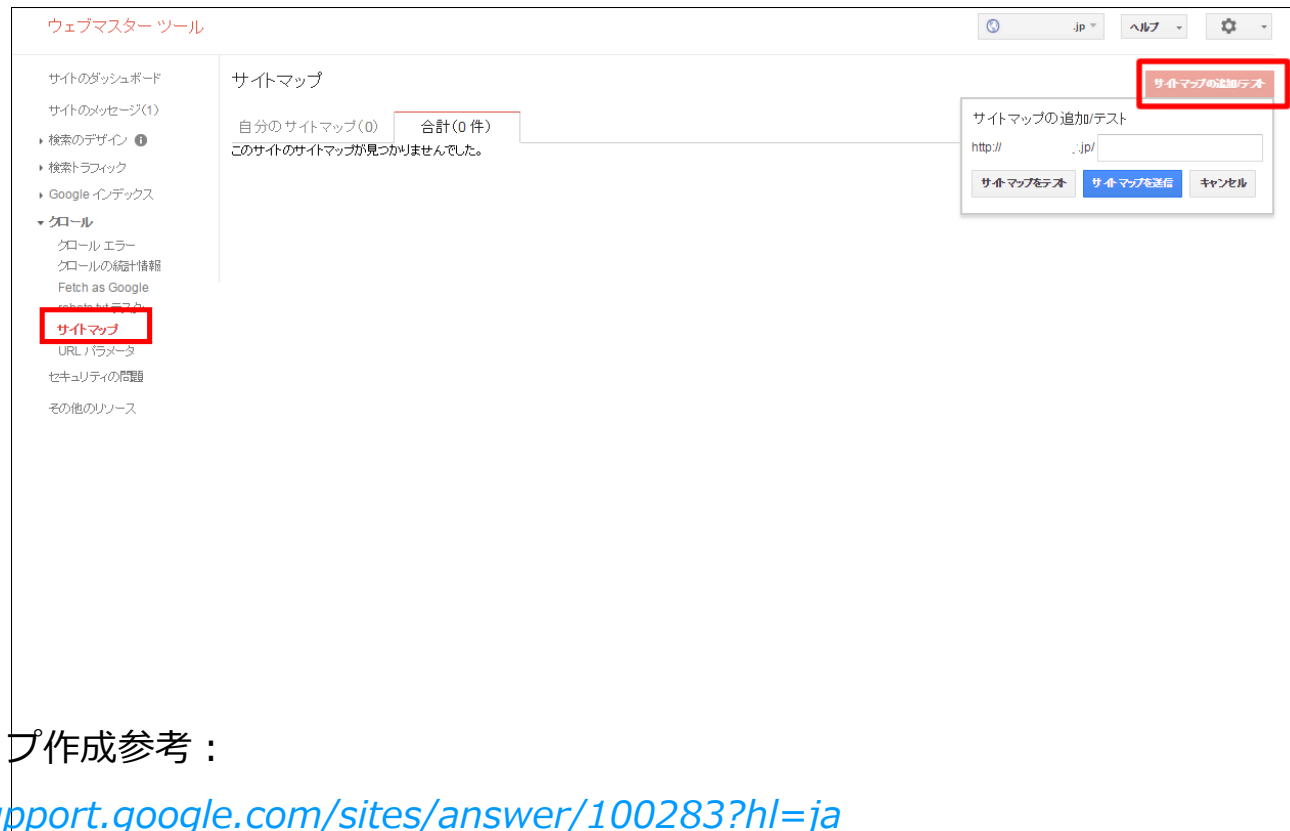
サーチコンソールにサイト登録すれば、必要なサイトのSEO状況が把握でき、分析、改善に役立てることが可能です。

検索順位の上昇を目指すのであれば、ホームページ作成後、必ず登録しておきましょう。

3. サイトマップ送信

サイトマップ登録すると、サイト更新するたび、クローラーが新しいページを訪問。

サーチコンソールの左メニュー「クロール」⇒「サイトマップ」をクリック。右上の「サイトマップの追加/テスト」ボタンを押して、サイトマップURLを入力し送信。



サイトマップ作成参考：

<https://support.google.com/sites/answer/100283?hl=ja>

※他、xml形式で作成する方法もあります。

4. タイトルタグ作成のポイント3つ

ポイントは以下3つです。

- ・「タイトルの最初のほうにターゲットキーワードを入れる」
- ・「競合より魅力的なタイトルにする」
- ・「最適な文字数を把握しておく」

「タイトルの最初のほうにターゲットキーワードを入れる」

タイトルの最初のほうにキーワードがあるほうがGoogleは、そのキーワードについて書かれているページだと認識しやすいと思われます。

「競合より魅力的なタイトルにする」

競合より魅力的なタイトルは、検索エンジンの画面で他のサイトと差別化できているとクリックされやすくなり、クリックされることにより順位が上がっていくからです。

自社の強みと狙っているキーワードをうまく組み合わせ、魅力的なタイトルを主要ページすべてで考えてください。

「最適な文字数を把握しておく」

検索結果画面に表示される文字数は、30文字前後です。

前方に興味を引く文言を記述し、文字数を頭に入れながら、タイトルを作ることをおすすめします。

5. metaディスクリプションタグ最適化3つのポイント

ポイントは以下3つです。

- ・「SEOキーワードを入れる」
- ・「わかりやすく、メリットを伝える」
- ・「最適な文字数を把握しておく」

「SEOキーワードを入れる」

前方と中間にいくつかキーワードを含めながら、ディスクリプションを記述することで、Googleは、そのキーワードについて書かれているページだと認識しやすと思われます。

「わかりやすく、メリットを伝える」

概要なので、サイトについて説明しながら、簡潔にわかりやすく、メリットを伝えることが大切です。効果的な文言があれば、クリックされやすく、ユーザーに魅力的にサイトを伝えることが可能です。

「最適な文字数を把握しておく」

検索結果画面に表示される文字数は、全角120文字程度です。

長すぎると省略されるので、サイトの概要を簡潔に、キーワードを前方に含めながら、効果的なディスクリプションを作成してみましょう。

6. コンテンツにキーワードを入れる

コンテンツで特に重要なのは、タイトル、テキスト文章です。

この2つにキーワードを含めることで、サイトが評価されやすくなり、検索順位上昇の可能性が高まります。

タイトルについては、「4. タイトルタグ作成のポイント3つ」先述で紹介したとおりです。

テキスト文章にキーワードを入れることで、そのページがキーワードについて書かれたコンテンツとしてGoogleに認識されやすくなります。。

例えば、テキスト内に上昇させたい単語（SEOキーワード）をどの単語よりも一番多く入れることで、SEOキーワードで検索に引っかかりやすくなります。

つまり、検索で上位化させたいキーワードでページを作り、コンテンツにSEOキーワードを含めながら、ページを最適化することが大切です。

7. h1タグの最適化

[Google検索エンジンスターターガイド](#) にも記述されてるように、hタグはユーザー、クローラーにページ構成をわかりやすくするための要素の一つです。

hタグは、見出しなので、もっとも重要であることを示すものに<h1>を使いましょう。

※参考：[Googleウェブマスターヘルプ フォーラム](#)

h1タグの使い分け

サイトを閲覧している人向けに記載（titleタグは外部の閲覧者向けに記述[ソーシャルメディア、検索エンジンなど]）

h1タグにアンカーテキスト

- ・h1に1つリンクが入ったくらいでスパム扱いされるはずがありません。
- 1ページに対して、複数のh1タグ内に直接的なアンカーテキストを乱用するのは問題があります。

h1タグの数

- ・複数のh1タグ使用は常識の範囲であれば問題ない（Googleマット・カツツ氏言及）
- HTML4、HTML5では複数使用が認められてる。

参考：[h1タグを複数入れるのは良くないことか？ | ラビットSEOブログ](#)

8. テキストボリューム・コンテンツを増やす

競合と比較して、本文のテキストボリュームやコンテンツが少ない場合にそれを増やすことです。
テキスト文章を中心に画像を使ったわかりやすいコンテンツを追加しながら、ページの作成を進めましょう。

最近は、ページの内容も重視されてきています。

上位のサイトがどの程度の文章量があるか、
どんな内容のページなのかを調査分析して、
自社サイトに足りない部分があれば、
そこを補うコンテンツを追加してください。

上位サイトのコンテンツを分析することは、とても重要です。
それは検索ユーザーが求めていることが、
上位サイトにあるからです。



9. キーワード出現率を最適化する

キーワード出現率とは、Webサイトのテキスト量に対するSEOキーワードの出現頻度のことを言います。
例えば、

文字数が3000文字 SEOキーワード数が10個 なら

キーワード出現率は $10/3000 \times 100 = 0.33\%$ となります。

上記のよう、SEOキーワードの出現頻度を把握し、キーワード出現率を適切に調整することが重要です。

●例、「SEO対策」でキーワード出現率調整（※[キーワード出現率調整ツールhotuku.jp](http://keywordhotuku.jp) 参考）

以下のように、ページ内で「SEO」「対策」の単語の出現率を上位に来るよう調整します。

順位	単語	出現数	出現率	出現率のグラフ
1	SEO	64	6.77%	
2	2015	44	4.66%	
3	対策	36	3.81%	
4	ウェブ	21	2.22%	
5	サイト	18	1.9%	
6	ツール	17	1.8%	
7	10	16	1.69%	
8	つ	15	1.59%	
9	位	15	1.59%	
10	3	12	1.27%	

10. 内部リンク最適化

内部リンクは、最初の段階で最適化できる、内部対策の1つです。

内部リンクが構築できるコンテンツを増やし、ユーザーが色々な場所から、サイト内部を回遊できる仕組みを作ることが大切です。

例えば、

- ・ 2カラムにして、サイドのカラムに、人気ランキング・新着記事コンテンツなどの内部リンクを作る
- ・ コンテンツを読み終わった最後の部分に、関連コンテンツの内部リンクを追加する
- ・ テキスト文章内に、参照リンクを張り、サイト内のその参照コンテンツを作る。
- ・ グローバルメニュー・フッターリンク・パンクスを設置する

上記のように、内部リンクの量を適切に増やし、
ユーザー・クローラーが
サイト内回遊しやすい構造にしながら、
ページを最適化しましょう。



株式会社ディーボについて

株式会社ディーボは、SEO業界初の検索アルゴリズム分析ツール「ALGO BUSTER」の開発をはじめ、被リンクチェックツール「hanasakigani.jp」や、立ち上げた3ヶ月で1万ページビュー達成のSEO実験ブログ「seolaboratory.jp」等、数々のSEOサービスを開発・リリースしてます。他にも紹介しきれない様々な無料SEOツール・SEOサービス等ございます。



株式会社ディーボ コーポレートサイト
「devo.jp」



被リンクチェックツール
「hanasakigani.jp」



SEO実験ブログサイト SEOラボ
「seolaboratory.jp」



Google順位変動幅確認ツール
「namaz.jp」



無料SEO診断ツール
「itomakihitode.jp」



Googleペナルティ解除支援ツール
「akakurage.jp」

ディーボは、一緒に順位をUPを目指します！
一緒に検索上位表示を目指して
SEO対策を進めましょう！

あなたのサイトの順位は大丈夫ですか？
順位・内部・リンクを調べ
必要な対策をご案内します（無料）